授業科目　病理学

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	栄養
遠藤　和男	開講時期	後期	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：ＧＩＯ>】

病理学は疾病の原因とその成り立ち（病態発生）についての学問で、医学・医療分野の基礎的科目の１つである。
管理栄養士国家試験範囲の大分類では「人体の構造と機能および疾病の成り立ち」に含まれる。種々の疾病の原因を明らかにし、その原因が生体にどのように作用し生体がどのように反応し、その結果どうなるかを知ることは、疾患の診断・治療・予後の理解に役立つ。解剖生理学や生化学の知識をもとに、授業では病理学の基礎的事項や用語を理解する。また、臨床医学科目と関連する分野も学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：ＳＢＯ>】

１）腫瘍の定義、分類、発生機序、生物学的特性を理解し、良性腫瘍と悪性腫瘍の差異、転移などの臨床的事項も学ぶ。
２）免疫系の全体像、主な免疫担当細胞の名前と働きを説明できる。アレルギー疾患や自己免疫疾患の例をあげ発生機序を説明できる。
３）感染症の成立要因と防御機構、病原微生物の種類、代表的疾患について学ぶ。
４）循環障害に関連した用語を理解する。とくに梗塞、血栓症、塞栓症について具体例をあげて説明できる。
５）内分泌系、生体の恒常性維持機構とその異常をきたす疾患について学ぶ。
６）蛋白質、糖質、脂質およびミネラルの代謝異常について学ぶ。
７）創傷治癒、炎症、退行性病変（変性、萎縮、壊死）、進行性病変（再生、化生、肥大、過形成）などの病理学用語を理解する。

回数	授業計画又は学習の主題		SBO番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	病理学とは	病理学の総論的事項		講義
2	腫瘍（１）	腫瘍の診断：病理診断、画像検査など		講義
3	腫瘍（２）	腫瘍の発生と進展、腫瘍の分類（例：胃癌）		講義
4	免疫（1）	免疫系の全体像		講義、ビデオ
5	免疫（2）	免疫系の異常を示す疾患：自己免疫や免疫不全		講義
6	免疫（3）	アレルギー疾患について。免疫系のまとめ		講義、小テスト
7	感染症（1）	感染防御機構と病原体		講義
8	感染症（2）	主要な感染症（肝炎、結核、STDその他）		講義
9	循環障害	充血、うっ血、血栓、塞栓、梗塞、出血、ショックなど		講義、小テスト
10	内分泌調節系（１）	恒常性維持のしくみとその破綻		講義
11	内分泌調節系（２）	主要な内分泌疾患		講義
12	代謝異常（1）	ミネラルの代謝異常、骨粗鬆症とカルシウム代謝		講義
13	代謝異常（２）	鉄代謝と貧血、ビリルビン代謝と黄疸、核酸代謝と痛風		講義
14	病理学用語のまとめ	細胞の生と死、修復と再生、炎症反応など		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年･価格･その他>
教科書（必ず購入する書籍）	カラーで学べる病理学	渡辺照雄	ヌーヴェルヒロカワ	Ｈ14年初版・2625円
参考書				
その他の資料	プリント（Powerpoint図を含む）			

【評価方法】
出席状況と簡単なレポート提出（30点）、期末試験（70点）

【履修上の留意点】
授業内容は教科書の総論部分が主になる。

健康栄養学科　専門